令和７年度プロジェクト研究公募テーマ

プロジェクト研究テーマＡ

「<u>イノベーションロードマップ第Ⅱ期・ネクストステージに向けて</u>」

趣旨：

歯科医学会が 2020 年に発出した歯科イノベーションロードマップ 2040 は、発出から 5 年が経過した。これは、日本歯科医学会に所属する多くの学会の貴重なデータから作り上げられた、根拠の強い目標である。2040 年でのアウトカムを見据えた目標ではあるが、マイルストーンを立てて経時的に示している。そしてそれは、柔軟に見直すことが重要であると同時に、オープンイノベーションでもある。オープンイノベーションであるので、既存の学会のテリトリーに拘らない、学会を横断した共同研究があってほしいと考えている。

そこで、今年度はこのイノベーションロードマップ第Ⅱ期（2026～2032）に向けて、このマイルスートンの見直しや各学会の垣根を超えた次のステージに相応しい研究を求めるものである。

なお、研究テーマ趣旨を踏まえ、研究内容がイノベーションロードマップの内容に絡めることを条件とする。

プロジェクト研究テーマＢ

「<u>次世代の仕掛け・医療シナジーを考える</u>」

趣旨：

DXの加速度的進化が起きている中、医療界においても情報の在り方、持ち方、共有方法、伝達などにおいて、一定の方向性を示す必要である。また、患者自身が、自身の健康情報を記録・管理するPHR、医療機関で取得した診療情報を、医療機関間で共有・連携するHERなどのプラットホームが確立されつつある中で、その活用方法は未だ実現されていない。

一方で、医科歯科連携の必要性が求められているものの、本格化がすべきところであるが、その実現には様々な障壁があるように見える。加えて、地域包括ケアシステムにおける多職種と協働した包括的な対応も同様である。

そこで、プロジェクト研究Bは、「次世代の仕掛け・医療シナジーを考える」と題し、医療機関の連携、多職種を含む医療従事者の連携、患者との連携などで、高い効果や成果が得られる何らかの仕掛けを提案できる仕組みやシステムの研究を求めるものである。

プロジェクト研究テーマＣ

「<u>歯科医療のドライブのために～フレームワークの検証と再構築</u>」

趣旨：

　既存の検査法、診断プロセス、治療法の評価、データの活用方法等を検証、再検討することは、医療を効果的に、かつ安全・安心を基本に進めることは非常に重要である。

　また、歯科界全体の常識とされていたことを、一旦立ち止まり、見直す必要はないであろうかと考える機会も必要と思われる。

　日常の小さなシステムは、PDCA が働いていると思われるが、全体となるとそう簡単なことではない。

　そこで、プロジェクト研究Ｃは、「医療のドライブのために～フレームワークの検証と再構築」と題し、歯科医療のコンテンツを検証し、再検討を行い、所謂フレームワークを再構築し、歯科医療のドライブ化を図るための研究を求めるものである。